

式辞

ようやく秋らしくなってきましたが、本日、ここに平成 29 年度卒業式を挙げていただくことは、この上ない喜びであります。

卒業生のみなさん。ご卒業、おめでとうございます。

全教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。〈そして、今日までみなさんを支えてこられたご家族・ご親族のみなさまにも、心からお慶び申し上げます。〉

卒業生のみなさん。われわれ教職員の共通の願いは、みなさんが社会の一員として、社会に貢献し、幸せで豊かな人生を送ってほしいということです。これから始まる長い人生において、たくましく歩んでいかれることを願っています。

ところで、学生生活はいかがでしたか。生涯の友だちを得ることができましたか。尊敬できる先生に出会えましたか。入学の時に思い描いた夢を実現できましたか。みなさんには、これからの人生が豊かなものであってほしいと思うと同時に、兵庫大学・兵庫大学短期大学部での学生生活が、人生の大切な宝物の一部であってほしいと願って思います。

さて、皆さんは本学を卒業し、社会へ巣立っていかれる訳ですが、そこでは多くの出会いや喜びとともに、これまでの人生の中で体験したことのないような大きな壁にぶつかることもあるでしょう。

そのような時には、大学、短期大学での学びや経験を基礎としながら、さらに学び、柔軟な思考を巡らせ、受け入れ、乗り越えていただきたいと思います。そのためにも、みなさんにはぜひ、それぞれが置かれた場所で、生涯学び続けてほしいと思います。日々の生活の中から、さまざまなことを見て、感じて聴き入って考える、その姿勢が、みなさんの個性、智慧になっていきます。

最後に、私から、みなさんへのお願いです。みなさんそれぞれが本学で身につけられた「和」の精神を大切にしてください。

本学の建学の精神は、ご存知のとおり、聖徳太子の十七条憲法に示された「和」です。聖徳太子は、多くの名言と呼ばれるものを残していますが、一貫して、「和」を根本としています。

現代語訳では「調和」と表現されているものもありますが、自分の心を大切にしながら、他者の心も大切にする、他者の思いを受け入れることを説いています。一言で表現すれば、

「互いを尊び互いを活かしあう」ということではないでしょうか。

本学は学校法人睦学園に設置された大学、短大ですが、学園訓として、「感謝」「寛容」「互譲」が掲げられています。当時、理事長であった河野申之先生が、建学の精神である「和」を伝えるために定められたものです。

「感謝」 生かされることに感謝すること

「寛容」 他者に心を寄せ相互に認め合い、信じあうこと

「互譲」 互いに譲り合い、助け合うこと

人として感じる心、共感する心、人への慈しみの心、思いやりに溢れた心を大切にしたいと思います。

それでは、卒業生のみなさんが、これからの長い人生をしっかりと歩まれ、健康で幸せでありますことを、心より念じまして、平成 29 年度卒業式の式辞としたいと思います。

平成 29 年 9 月 29 日

兵庫大学・兵庫大学短期大学部

学長 河野 真